

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3月 21日

事業所名 パステル ②

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	・各活動フロア(学習、活動、個室)のスペースが確保されており状況に応じて活用している ・コロナの感染状況により変化はある	・コロナの感染対策や利用者の特性に応じてレイアウトの工夫を行い環境の設定の工夫を行う
	2	職員の配置数は適切である	8	0	・専門職を配置し多様なニーズに対応。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	・朝の会に1日の日課(お手本、写真提示)視覚にて説明している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	1	・毎日の消毒や清掃 ・怪我がないようクッションを敷くなど安全面に留意している	・浴場とトイレが一体になっておりトイレが水浸しになるが、滑らないように床拭きなど徹底し転倒に配慮する
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	3	・日誌の活用や職朝に本日の役割や利用者の特性に応じた振り返りを行う	・会議にてPDCAサイクルが活用できる取り組みを図る。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	・送迎時や面談などを活用し意向を把握している	・保護者評価表を参照し、改善点など話し合う機会を設け業務改善に繋げる。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		・ホームページにて公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	0	・苦情に関しては第三者委員会を設置	・外部評価は行っていないので、今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	5	・オンラインで受けられる研修は受講している。	・コロナの影響もあり、研修機会が少なくなってるが、受講した際は報告書を開覧。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	・エイブル活用や保護者、各関係者の情報を共有し、ニーズ、課題などに応じて作成している	・契約時に保護者様からニーズや本人の状態、各関係者から情報共有などを伺っている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	・児発管や専門職によるアセスメントを実施している。	・個別に合ったツールの使用
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	・保護者からの聞き取り、各関係機関、社会資源に配慮しながら、アセスメントを行い、共通した支援内容を設定	・家族支援については、随時対応する(専門職配置:言語療法士、作業療法士、看護師など)。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	・各関係者と共通理解し計画に沿った支援を行っている	・状況変化があった場合、随時、会議開催し対応する。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	・固定化されないように各班に分け、提案、相談体制づくり ・ST、OTなど各自プログラム月の予定作成	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	・季節に合わせた行事を取り入れるなど、プログラムが固定化しないよう努めている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	7	1	・個別学習(お絵描き、創作活動)や集団活動(身体を動かす等)を取り入れた支援計画を作成している	・個別活動及び集団活動の取り組みを関係者と検討する時間調整やスペースを確保する。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	・活動前に本日の活動の内容を申し送りし、役割分担が行われてる	・事前に支援内容や行事など、役割分担を行っている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	・朝のミーティングの際に共有を図っている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	・業務日誌や連絡帳に利用時の状況を記録	・毎日の日誌記入は出来てるが、必要に応じて項目追加を検討。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	・各関係者からの聞き取りやコロナで集まる事ができない場合は、zoom会議している	・状況変化があった場合、随時、会議開催し対応する。	
関係機関	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	8	0	・専門職(言語、作業療法士、看護師)が不参加の場合は、聞き取り等を行い報告している。 ・状況に応じて専門職が参加している ・市町村、他学校との連携を行っている。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0		・市町村や各関係機関と連携を図りながら取り組んでいく。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	0	・必要に応じて、医療、相談支援事業所、市町村と連携している	・個人情報に留意しながら情報の共有が必要。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8	0	・zoom会議を活用し主治医と情報の共通理解、連携が図られた	・個人情報に留意しながら情報の共有が必要。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
や保護者との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	・各関係者からの情報共有やコロナで集まる事ができない場合は、zoom会議し共有 ・相談支援事業所を主体として連携している ・連絡帳にて申し送り	・職員間での共有が図られている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	・学校との会議参加及び連絡帳を活用し情報共有ができています。 ・必要に応じて電話連絡	・学校等との会議にて、共通理解が図られている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	・オンラインや電話などで連携や助言をもらっている。	・各種研修会への参加を検討しているが、コロナの影響の為、対面では参加できてない。Zoom活用に努める。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	7	・コロナの影響で出来ていないが、児童部(法人内)では出来ている	・コロナの影響の為、対面では参加できてない。Zoom活用に努める。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	5	3	・自立支援協議会構成員はあるが今年度はコロナの影響で実施していない	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	・送迎時や連絡帳を活用。共通理解が図られる ・必要に応じて電話連絡もしている	・日頃から信頼関係を築き、情報共有できるよう努めている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	2	・電話などで相談に対応	・今年度ペアレントプログラムの受託に向けて進めていたがコロナの影響で中止となった。
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	・契約時に運営規定、契約書や個人負担金の説明を行う。	・要望や質問等がないか確認している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	・保護者へ説明し同意を得ている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	・各専門職が配置されており、その都度対応	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	6		・今年度の計画には保護者同士の集まれる機会を企画していたが、コロナの影響で行っていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	・意見箱設置 ・電話にてその都度対応	・相談があった場合は、随時対応。また、内容に応じて専門職にて助言。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	・パステルたより発行(月1回発行)⇒活動内容や写真など添付	・会報発行し、日々の活動報告を行っている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	・保管棚に保管、会議で情報共有が必要な場合は、保護者に主旨説明し、了解得ている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	・本人が理解しやすいように、絵カード、写真、タブレットを選択する工夫をしている	・視覚的にも伝わるよう(写真、絵カード)活用するが、理解できてない事がある為、特性に応じた情報伝達配慮必要
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	・コロナの中でもできる活動を設定して行っている	・コロナ影響の為、対面にて地域交流実施できてないが、コロナ中でも交流が図れる活動設定に努める
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	・防犯マニュアル、感染症対応等作成されている ・看護師の助言で行う	・緊急マニュアルなど、職員や保護者が閲覧できる場所に提示する
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0		・避難計画を作成し災害に対応できるよう訓練に取り組む。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0	・専門職(看護師)にて記録 ・1人1人の対応マニュアル作成 ・看護師を中心に行う	てんかん発作簿やアセスメントの段階にて把握できるよう努めている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	・アレルギーある方は、アレルギーリストを作成し保護者に確認。ファイルに綴り職員と共通理解している ・必要に児童に対しては主治医の指示書あり	アセスメントや保護者からの情報に基づきおやつ等を提供している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	・案件が出たら朝礼で共有	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	4	・朝のミーティングで時間を設ける	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	2	・契約時に保護者へ説明	・主治医、保護者への説明や同意を得て支援計画に記載する。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。